

平成28年3月29日

関東東北産業保安監督部東北支部
保安課

平成26年の東北管内におけるガス事故について

(1) ガス事故詳報対象事故について

① 管内におけるガス事故の発生件数について

管内におけるガス事業法施行規則第112条第1項に該当する詳報対象事故（以下「ガス事故」という。）の発生件数及び被災者数は表1、表2のとおり。

表1 管内のガス事故発生件数

[単位：件]

		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
東北管内	一般ガス事業	10	10	4	10	11	12	6	10
	導管事業	0	0	1	0	0	0	0	0
	簡易ガス事業	2	5	4	0	2	3	1	6
	小計	12	15	9	10	13	15	7	16
全国		372	298	305	383	467	471	767	674

注1:H23の事故件数には、東日本大震災による製造支障事故や広範囲の導管損傷による供給支障事故の件数は含んでいない。

注2:H25の全国の件数は、FF式レンジフード型給湯器のケーシング変形による事故件数の大幅な増加(前年比289件増)が要因であるが、当該機器メーカー等が積極的に点検、部品交換を実施している過程で多く発見されたものである。

表2 管内のガス事故による被災者数

[単位：人]

		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
死亡者数	一般	0	0	0	0	2	0	0	0
	簡易	0	0	0	0	0	0	0	0
負傷者数	一般	3	7	3	7	14	3	3	3
	簡易	0	0	0	0	2	0	0	1
全国	死亡	7	4	3	1	3	0	1	1
	負傷	90	88	64	54	78	54	39	51

注:負傷者数にはCO中毒を含む。

② 管内におけるガス事故概要について

平成26年に東北管内で発生したガス事故を段階別にみると、製造段階が1件、供給段階が10件、消費段階が5件となっている。

表3 東北管内のガス事故概要（一般ガス事業、簡易ガス事業）

月日	県名	区分	段階	現象	事故の概要
2月19日	山形	簡易	消費	漏えい・着火	<p>使用者が接続されていない予備のガス栓（ゴムキャップ等の措置なし）を誤って半開きした状態のまま、もう一方のガス栓（コンロ用）を開きガスコンロに点火した。</p> <p>そのため半開きの状態の予備のガス栓から漏えいしていたガスに引火し、コンロ接続用のゴムホース、ガス栓、並びに窓ガラスを焼損した。</p>
2月5日	福島	簡易	製造	ガス切れ 【供給支障:52】	<p>団地内の需要家からガスが出ないという連絡があり確認したところ、特定製造所においてガス切れによる供給支障が発生していた（供給支障52戸）。</p> <p>供給支障は当日17時32分頃、事業者が覚知。同日20時頃に復旧。</p> <p>特定製造所の点検でガス圧力は左0.3MPa、右0.1MPaを指していた事もあって、ガスが十分あると誤認した。</p>
3月1日	山形	簡易	供給	他工事	<p>非需要家宅の駐車場工事（他工事）を実施した際、敷地内の残土撤去中または塀の基礎撤去時にガス引込管を破損。付近の道路を数時間閉鎖。</p>
6月9日	福島	一般	供給	その他 【交通事故】	<p>警察より、車両が突っ込みガス管を損傷しガスが漏えいしたとの連絡があり、ガス会社が緊急出動し、漏えい箇所の修理を行った。</p> <p>ガス臭のため、警察による交通制限が行われた。</p> <p>○交通規制 市道、幅6m、延長20m ○規制時間 21:30～22:45（75分間）</p>
6月17日	秋田	一般	消費	漏えい・着火	<p>需要家が風呂の自動湯張りのスイッチを入れたところ、約3分後に爆発音とともに小屋の扉・風呂給湯器の全面カバーが破損した。</p> <p>ガス事業者が現場を確認したところ、風呂給湯器の排気筒トップがビニールで覆われている状態であった。</p> <p>原因は、外装塗装業者が養生のためのビニールシートを剥がし忘れたため、消費者が気づかずに使用したことから排ガスが排出されず消炎に至り、再点火時に機器内部及び周辺に滞留した未燃ガスに引火し、爆発したものと推定される。</p>

8月4日	宮城	一般	供給	他工事	<p>消防より敷地内ガス管の破損事故発生の連絡があり出動したところ、カーポート交換工事中に電動ピックにてPE管(25A)を破損したことを確認した。</p> <p>ガスが漏えい中であったため、応急処置にてガス漏えいを停止した。この際、消防及び警察により付近の道路の交通規制(15:00~16:20(80分間)、延長130m)を行った。</p>
8月15日	福島	簡易	供給	差し水 【供給支障:72】	<p>水道管の漏水を原因とするサンドブラスト現象により支管が損傷し、漏水した水道水が本支管に流れ込みガス管が閉塞し、供給支障となった。</p> <p>事故当日中にシリンダー供給にて供給再開済。</p>
9月16日	宮城	簡易	供給	導管工事 【軽傷1名】	<p>漏えい調査で発見されたガス漏れ箇所の導管(本管)を入れ替えようと、導管をカッターで切断したところガスに引火し、ガス事業者の下請け工事会社の作業者が火傷を負ったもの。閉栓したバルブの片方が完全に閉止していなかった。</p>
9月19日	福島	一般	供給	導管工事 【軽傷2名】	<p>他事業者から支障になる不使用管の切断を依頼され、自社担当者より「当該ガス管はガスが流れていないため、切断にて撤去」するよう社員2名に指示。社員1名は掘削部分へ入り、他1名は掘削上部で保安監視していた。</p> <p>当該ガス管を電動鋸にて切断したところ、漏えいしたガスに引火、社員2名が火傷(軽傷)した。なお、火災は、社有車に搭載の消火器にて消火を行った。</p> <p>事故の原因は、当該ガス管は、ガス圧が残ったままの状態でガスバルブを閉めていた。そのことを自社担当者は、記憶違いの思い込みにより、残留ガスを確認しないままガス管の切断及び撤去の指示をした。自社社員はその指示に従いガス管を切断したため、漏えいしたガスに引火し、社員2名が火傷(軽傷)したものである。</p> <p>また、電動鋸を使用したのは、切断すべき導管箇所が狭隘のため手動カッターが使用できない状況だった。</p>
10月24日	青森	簡易	供給	他工事	<p>水道工事業者が誤ってガス埋設配管を損傷させたことにより、ガスが漏えいし、掘削機械の火花が引火し火災発生。</p>
11月6日	青森	一般	消費	漏えい・着火	<p>調理実習室において、先生が4台のガスコンロに、ヘチマの入った大鍋を載せ、順に点火。しばらくして4台目から焦げ臭い臭いがし、ガス臭いような気もした。</p>

					<p>コンロの下から火が出ていたので、ガス栓を閉めたが、火はすぐには消えず、少しの間燃えていた。</p> <p>点火操作時につまみを押して回す時に、生ガスが放出されるが、圧電の不良により点火不良が起き、生ガスが器具内に溜まり、火がついたと思われる。</p>
11月26日	山形	一般	供給	他工事	<p>消防より、保育園前にてガス臭いとの通報を受け、出動したところ、供給管付近の路面に舗装切断の跡があり、切断溝よりガスが噴出していた。(通行人が消防へ通報したとのこと)</p> <p>現場到着時には既に警察・消防が到着しており、警察により交通規制が行われていた。損傷部の応急処置を行い、ガス噴出止め後、交通規制を解除した。(規制区間 約140m、規制時間約20分)</p> <p>他工事業者が、当該需要家の給水管工事に伴う舗装復旧工事のため、14時頃舗装切断作業のみを行って、その日は現場を離れた。その際、当該供給管を一部切断したことによるもの。</p> <p>当該ガス管は、道路民地境界付近の道路側にて深さ10cm程度まで立ち上がり、側溝を貫いて当該敷地に入っており、側溝付近路面の舗装切断時にガス管を損傷した。</p>
不明 (覚知:12/3)	福島	一般	消費	漏えい・着火	<p>ガス事業者が消費機器調査にて需要家を訪問したところ、BF式風呂釜の変形を確認した。</p> <p>需要家によると1年くらい前に風呂釜がなかなか点火せず繰り返し点火したところ爆発点火したとのこと。</p>
12月10日	秋田	一般	消費	漏えい・着火 【軽傷1名】	<p>従業員がオープン余熱のため点火。1分後にオープンを開けたところ火が点いていないため再度点火し扉を閉めた。</p> <p>その1分後にオープン扉を開けたところ爆発。従業員は火傷を負い病院で治療を受けた。</p> <p>オープン庫内に未燃ガスが滞留し、扉を開けた際に空気と混合、着火、爆発したと思われる。</p>
12月13日	宮城	一般	供給	他工事	<p>市発注の造成宅地滑動崩落対策工事において、暗渠管敷設工を行っていた他工事業者が、重機で供給管を破損した。</p> <p>他工事業者が破損箇所への応急処置をテープ巻により実施し、ガス噴出を停止するとともに、周辺住民3件3名を避難誘導。</p> <p>他工事業者が埋め戻し作業を行う際、</p>

					<p>ガス管の位置を示していた手元作業員から重機オペレーターに情報が伝わらず、供給管を破損したものの。</p>
12月22日	宮城	一般	供給	漏えい・着火	<p>お客様より「調理中にガス栓付近で火が出たため、濡れ雑巾で消火した。」との通報あり。</p> <p>お客様が、コンロの周りを掃除するために移動していた鉄製の遮熱板を元に戻す際に、当該遮熱板が、ガス栓と常に接続している炊飯器用の迅速継ぎ手の取り出しリングに接触したことによりガス栓との接続が不完全となった。</p> <p>このため微量のガスが漏出し、その状況下において、ガスコンロを使用したことによりコンロの火が漏出したガスに引火したものと推定される。</p>